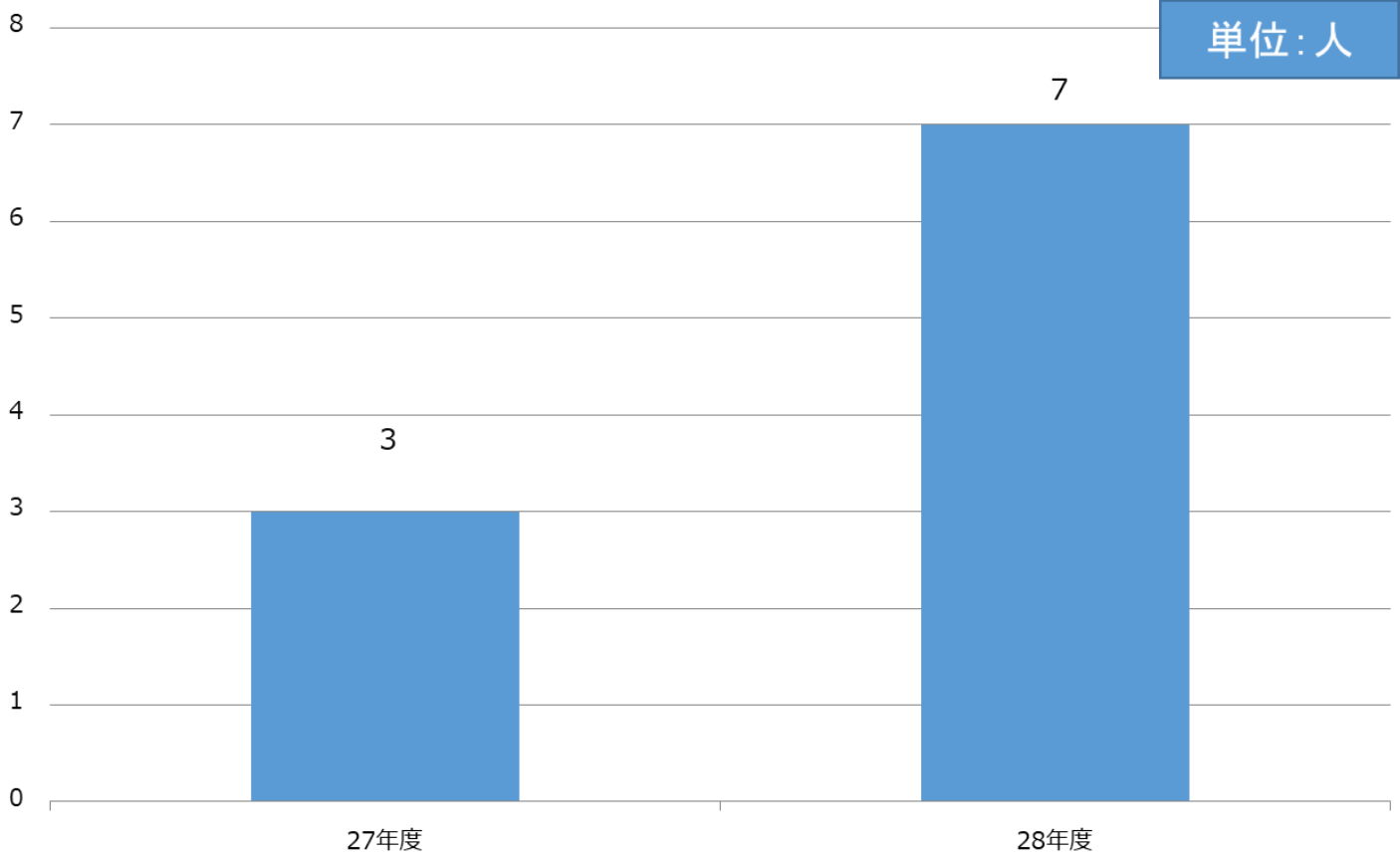


46 日本助産評価機構が認定する「アドバンス助産師」の人数

指標の解説

- 助産師の助産ケア実践能力を客観的に評価する仕組みとして「日本助産実践能力推進協議会」は2015年8月より「助産実践能力習熟段階（CLoCMiP）レベルⅢ認証制度」を開始した。当該制度に基づき認証された助産師は「アドバンス助産師」として認定される。
- レベルⅢをクリアする要件は以下のとおりである。
 - 入院期間を通して、責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアを実践できる
 - 助産外来において、個別性を考慮したケアを自律して提供できる
 - 助産外来において、指導的な役割を実践できる
 - 院内助産において、自律してケアを提供できる
 - ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる
- 当該助産師の配置状況によって、より高いレベルの助産ケアを実践している医療機関であることを評価できる指標である。



27年度の認証開始以降、着実に認定助産師を増やしている。